

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	学生実習等国民向けPR経費			<b>担当部局庁</b>	医政局			<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成20年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	看護課			課長：岩澤 和子			
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>	「看護基礎教育の充実に関する検討会」報告書 看護基礎教育のあり方に関する懇談会整理」						
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	患者・家族をはじめとした国民各位へ看護学生の実習についての理解及び協力を求めるため、ポスター及びパンフレットを医療機関へ配布し、患者や患者家族に対し広報等を行うもの										
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	ポスター、パンフレットを医療機関へ配布し、患者や患者家族の理解・協力を求める										
<b>実施方法</b>	直接実施										
<b>予算額・執行額</b> (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	2	2	1	1	0				
	執行額	0.8	2	0.4							
	執行率(%)	40%	100%	40%							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度			
	看護師等養成課程数(都道府県知事指定)を前年度以上とする。	看護師等養成課程数(都道府県知事指定) ※成果指標を前年度以上としているため3年以内の目標設定は困難。	成果実績	課程	991	994	991	-	-		
			目標値	課程	1,000	991	994	-	991		
			達成度	%	99.1	100.3	99.7	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	ポスター配布件数	活動実績	件	1,008	1,073	1,104	-				
		当初見込み	件	975	975	1,073	1,104				
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	・単位当たりコスト=X/Y  X:予算執行額 Y:ポスター配布件数	単位当たりコスト	円	786	1,785	380	1,071				
		計算式	X/Y	792,462円 /1,008件	1,915,531円 /1,073件	419,542円 /1,104件	1,182,000円 /1,104件				
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	庁費	1									
	計	1	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること								
	施策	今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること（施策目標I-2-1）								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度	
		就業看護職員数(医政局看護課調べ) ※27年度実績値は集計中。28年度目標値は平成27年度成果実績と同値とする。	実績値	人	1,571,647	1,603,108	-	-	-	
			目標値	人	1,537,813	1,571,647	1,603,108	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	ポスター等を配布し、患者・患者家族の理解・協力を得ることで、看護学生の医療機関等での実習という教育の機会を確保し、看護職員の確保に寄与する。									
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は看護師確保のための施策であり、国民のニーズを反映している。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	看護職員確保のための施策の実施に当たっては「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととされている。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	看護職員確保のためにも看護師養成は優先度が高い事業である。							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○								
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	随意契約(少額)により調達している。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	27年度においてはポスターのデザインを変更しなかったため、単位当たりコストが大幅に減少しているが、デザインにかかる費用(26年度実績993,600円)を追加して比較しても26年度と比較して改善しているため妥当な水準であると考えられる。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	広報に必要なポスター、パンフレットの配布に必要な経費に使途が限定されている。							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	27年度においてポスターのデザインを変更する必要が生じなかったため、デザインに要する経費が不要となった。								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に必要な最低限の経費のみを計上し、コストの削減に努めている。								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	成果実績は成果目標を僅かに下回ったものの、達成率99.7%とほぼ横ばいである。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込を超えている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
	所管府省・部局名	事業番号	事業名							
	-	-								
点検・改善結果	点検結果	本事業は、患者・家族等へ看護学生の实習についての理解及び協力を求めるものであり、看護学生の实習施設を確保するために必要な事業である。成果実績、活動実績ともに概ね目標又は見込どおりで一定の成果が出ている。27年度においてはポスターのデザインを変更する必要がなかったため執行率が低くなっている点を改善する必要がある。								
	改善の方向性	27年度の執行状況を踏まえ、必要に応じた事業内容の見直しを行い、引き続き必要な予算額の確保と適正な執行に努めてまいりたい。								

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

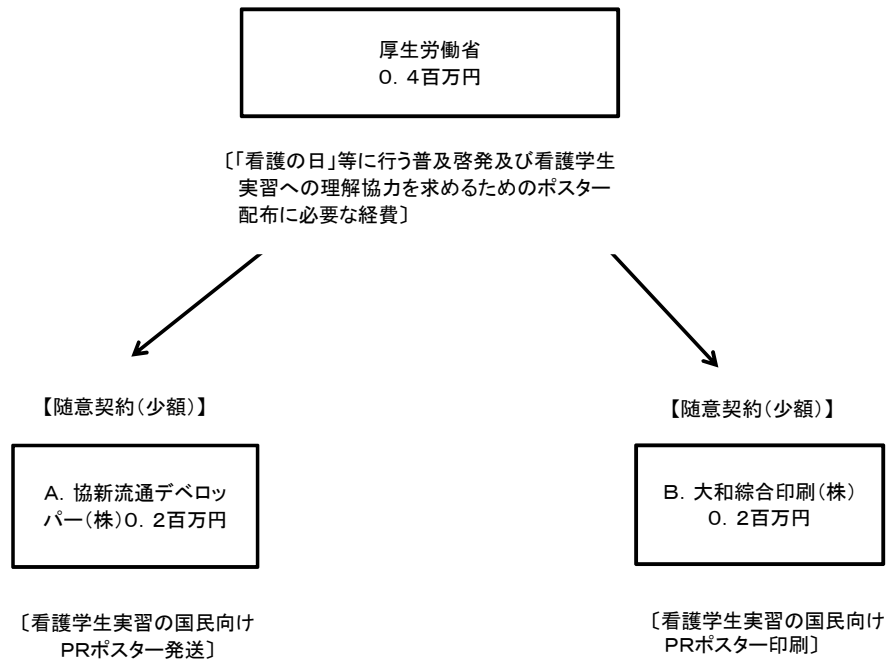
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	79	平成23年度	66	平成24年度	46	
平成25年度	33	平成26年度	38	平成27年度	39	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

